

# パブリックコメント(案)について

令和8年2月9日

内閣官房  
国家サイバー統括室  
人材政策班



## 目的

サイバーセキュリティ人材フレームワーク(案)について、策定後の利活用を見据え、その考え方や構成の妥当性、実務における活用可能性等について、広く国民等から意見を募集し、内容の充実・改善を図るため。

## 募集期間 募集方法

**令和8年2月中旬～3月上旬頃(予定)**

電子政府の総合窓口(e-Gov)を通じて意見募集 

## 対象

### サイバーセキュリティ人材フレームワーク(案)

※対象文書には以下の事項を含む

-  策定概要(位置づけや全体像等)
-  13役割の詳細(フレームワーク本体)
  -  各役割の詳細
  -  求められるタスク(T)・知識(K)・スキル(S)
  -  4段階のレベル 等

## 意見の 取り扱い

-  提出された意見については、内容を精査の上、必要に応じて表現の明確化や補足説明の追加等を行い、取りまとめにあたっての参考とする予定。
-  併せて、意見に対する考え方を整理し、公表する予定。

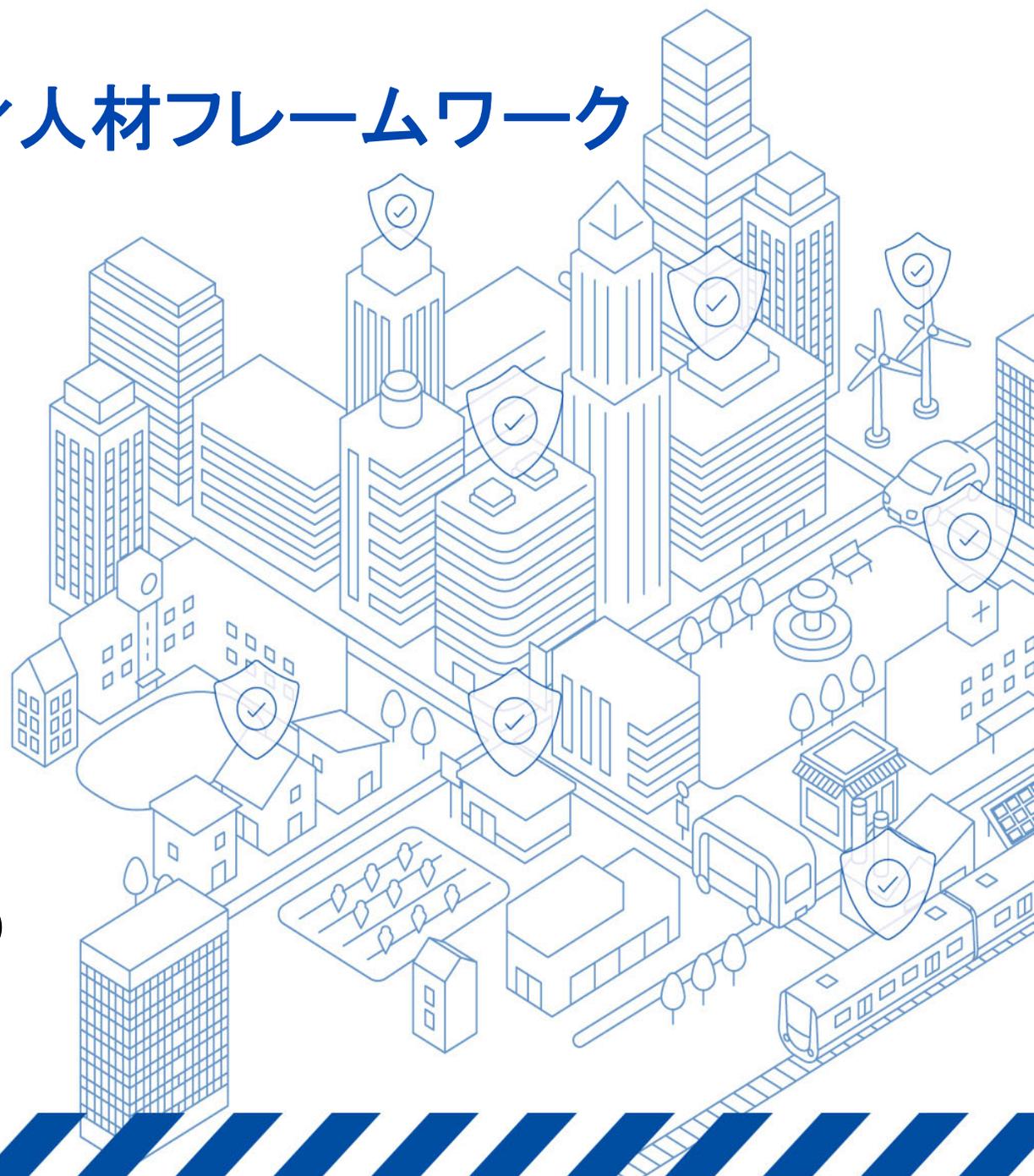
# サイバーセキュリティ人材フレームワーク

パブリックコメント(案)

令和8年2月

内閣官房

国家サイバー統括室(NCO)



## 概要

サイバーセキュリティを担う人材について、職種別の**役割**と、それぞれに求められる**タスク・知識・スキル**を体系的に整理するとともに、能力等に応じた**レベル**を設定し、官民共通のフレームワークとして設定するもの。

## 策定背景

### 現状

- ✓ 職種ごとの役割やスキルセットが**不十分**  
求められる知識・スキル等が**曖昧**
- ✓ 実務ニーズとサイバーセキュリティ人材の要件との対応関係が**不明確**



人材の育成・確保を効果的・効率的に進めるための**共通基盤が不十分な状態**



一括りに「**サイバー人材**」と語られる傾向



### 策定後目指す効果

- 企業等** 組織に必要な人材像を明確化し、採用・配置・育成等を計画的に進められる
- 個人** 役割に応じて求められる知識・スキル等が可視化され、学習やキャリア形成の指針となる
- 教育機関等** ニーズに即したサイバーセキュリティ人材の要件を踏まえ、教育内容やカリキュラムを体系的に企画・設定できる



**可視化により、効果的・効率的な人材育成を実現する環境を整備**

## 位置づけ

必須事項ではなく、  
「**指針**」の位置づけ

体制整備等にあたり、一律の履行を求めるものではなく、  
利用主体の取り組みを支援するための「**指針**」である。

## 対象範囲

**産官学等幅広い主体**  
による活用を想定

国・地方公共団体・民間企業、教育関係機関等、産官学を  
問わず、**幅広い主体における活用**を想定。

## 活用方針

**利用者の実態に応じて**  
**柔軟に活用**

各利用主体が、組織の規模・特性、職務内容等に応じて、変  
更・修正をして、**柔軟に活用**することを想定。

主な利用主体別にフレームワークの活用例等をまとめた  
「**手引き書**」を併せて策定。

## 他のフレーム ワークとの関係性

**相互参照を図りながら**  
**活用**

既存の国内外の人材フレームワーク(※)等を代替するもの  
ではなく、あくまで標準的な人材像を示すものであり、実務に  
応じた**補完や発展的な活用**を妨げるものではない。

※ 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)が発行するSecBoK等

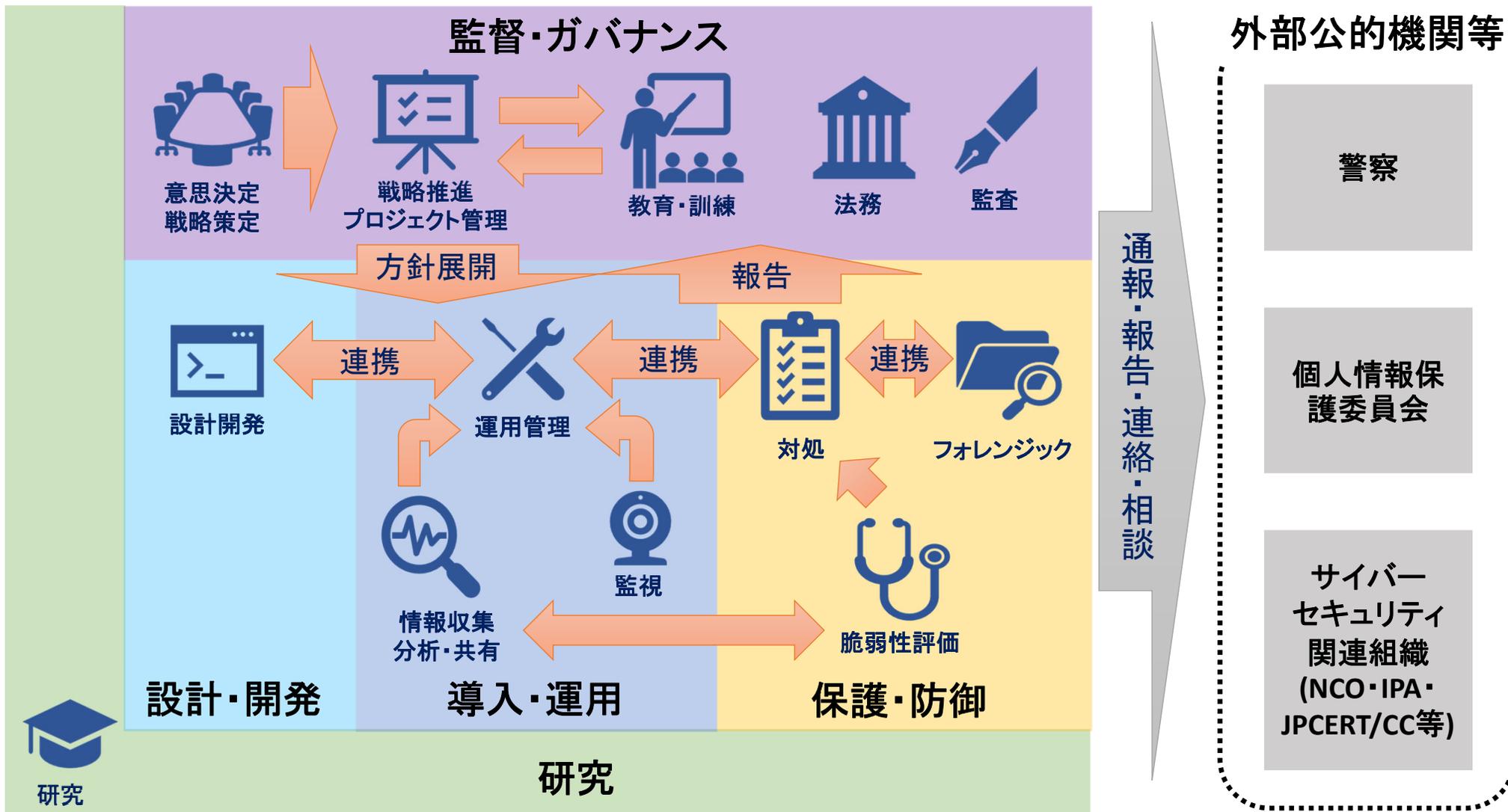
## 見直し

**不断の見直しを前提**  
**とする**

技術動向や社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じ**見直し**、  
改訂を行う。

## 概要

国内外のフレームワーク類との相互参照性を確保しながら技術的側面に限らず、サイバーセキュリティ業務にかかわる13の役割を定義



# 人材フレームワークのレベル設定について

ITSSのレベルと相互参照を図りながら、**4段階のレベル**を設定

※ 前回からの変更箇所は赤字

レベル	人材フレームワークのレベルの定義	対応するITSSレベル
4	<b>業務における最終意思決定に対して責任を負う者</b> 条件: 下記3点のうち2点以上を満たす者 ① 各役割で定義された知識に加え、業界全体やビジネスに関連する幅広い知識を持っている ② 組織全体を俯瞰して、各役割で定義された知識・スキルの向上を企画・立案することができる ③ <b>サイバーセキュリティに関する</b> 実務経験が10年以上が望ましい	レベル4以上 (組織内や業界内等のハイレベルプレーヤ)
3	<b>業務を独力で遂行可能であり、かつマネジメントを行う者</b> 条件: 下記3点のうち2点以上を満たす者 ① 各役割で定義された知識に基づき、 <b>組織内外の連携先と円滑な会話(説明・指導等による管理)ができる</b> ② 各役割で定義されたタスクを <b>実行できる</b> ③ <b>サイバーセキュリティに関する</b> 実務経験が4～10年程度が望ましい	レベル3 (独力で遂行可能)
2	<b>業務において指示に基づく作業を実行する者</b> 条件: 下記3点のうち2点以上を満たす者 ① 各役割で定義された知識の概要に基づき、 <b>組織内外の連携先と会話ができる</b> ② 他者の指示により、各役割で定義されたタスクを実行することができる ③ <b>サイバーセキュリティに関する</b> 実務経験が2～4年程度が望ましい	レベル2 (指導の下で遂行可能)
1	<b>業務に対する最低限必要な知識を有する者</b> 条件: 下記3点のうち2点以上を満たす者 ① 各役割で定義された知識のキーワードを理解し、 <b>業務に必要な最低限の会話ができる</b> ② 他者の指示により、各役割で定義されたタスクを実行することができる ③ <b>サイバーセキュリティに関する</b> 実務経験が2年未満である	レベル1 (最低限必要な知識を有する)



詳細な役割の定義(13種類×TKS)は別紙  
(参考資料3:人材フレームワーク本体)参照

---